

東京港における植物の輸入状況（令和 7 年）

東京港は首都圏の一大消費地を背後に、国民生活と産業活動を支える物流拠点として、植物の輸入においても重要な役割を担っている。

令和 7 年の東京港における植物検疫対象輸入植物の概要は表の通りで、国内産地の天候不順などの影響を受けて前年に比べ増加となった。重量ベースでは 200 万ト（前年比 107.3%）であった。輸入植物の生産国は 95 の国と地域に及び、栽培用植物及び球根並びに木材を除いた重量ベースでは、米国が第一位で 3 割強を占めている。

栽植用植物：5 か国から輸入され、前年比 7353.5%と増加した。この極端な増加の原因は、ベトナム産芝苗が 2 回輸入され、非常に小さい苗で申請数量が大きくなったためである。その他、中国産ヒカゲノカズラ属苗 1,128 千個（同 92.4%）、ベトナム産などファレノプシス属苗 828 千個（同 99.9%）が定期的に輸入された。

栽植用球根：前年比 73.3%となった。主な品目は、ユリ 1,413 万球（同 75.2%）、スイセン 20 万球（同 40.0%）であった。オランダ産が約 7 割以上を占めている。

栽植用種子：前年比 105.4%と増加した。主な品目は飼料・緑肥作物、野菜などで 26 カ国から輸入され、4 割強が米国産である。全体の 4 割以上を飼料・緑肥作物が占め、1,855 ト（同 87.9%）となった。

切花、切葉、切枝：前年比 102%と増加した。キク 18,030 万本（同 111.3%）、ヒサカキ 7,416 万本（同 90.8%）など、多種類の切花、切葉類が 8 カ国から輸入された。中国産は全体の約 4 割強を占めるものの、前年に比べ 19,089 万本（同 95.6%）と減少した。

果実：前年比 100.7%であった。47 カ国から輸入され、コンテナ本数では 8,515 本（対前年 1,419 本増）増加した。品目として全体の 6 割以上を占めるバナナは 284,505 ト（同 102.2%）と増加したが、専用船積フィリピン産は 231,443 ト（同 97.0%）と減少した。次いでパイニアッ

ブルは全体で 38,105 ト（同 104.6%）と増加し、主要産地のフィリピン産が 29,206 ト（同 114.6%）であった。キウイフルーツは 45,643 ト（同 100.7%）、柑橘類はグレープフルーツ 3,717 ト（同 193.4%）、オレンジ 12,045 ト（同 109.6%）、レモン 6,910 ト（同 121.2%）となった。また、トルコからの専用船での輸入実績があった。

野菜：前年比 129.1%と増加した。34 カ国から輸入され、コンテナ本数 17,675 本（対前年 3,903 本増）と増加した。9 割以上を占める中国産は 311,909 ト（同 126.0%）と増加し、次いでニュージーランド産は 15,644 ト（同 100.6%）となった。主要品目のタマネギは 145,463 ト（同 115.4%）、ニンジン 44,306 ト（同 122.5%）、ナガネギ 33,718 ト（同 112.3%）なども増加した。

穀類：前年比 116.0%と増加した。35 カ国から輸入され、主要品目の専用船積コムギは 119,421 ト（同 87.5%）と減少したものの、モルトは 126,739 ト（同 114.7%）、コンテナ本数 5,783 本（対前年 638 本増）と増加した。

豆類：前年比 85.5%と減少した。26 カ国から輸入され、9 割以上がダイズで 143,139 ト（同 85.1%）、コンテナ本数 7,162 本（対前年 1,241 本減）と大幅に減少した。

嗜好香辛・薬染料・その他食品：前年比 108.7%と増加した。79 カ国から輸入され、アーモンド 23,824 ト（同 117.0%）、タバコ 15,522 ト（同 133.1%）と増加した。

油料・肥飼料・その他雑品：前年比 99.2%と微減した。43 カ国から輸入され、乾牧草が 458,616 ト（対前年 97.5%）と減少した。主要産地別コンテナ本数は米国 15,472 本（同 1,322 本減）、カナダ 3,783 本（対前年 676 本増）であった。

木材：前年比 54.3%と減少し、114m³が 3 カ国から輸入された。（業務グループ 大西 洋）

表 植物の分類別輸入数量（東京港）

分類 単位 年次	栽植用植物 (千個)	栽植用球根 (千個)	栽植用種子 (千トン)	切花切葉切枝 (千個)	果実 (千トン)	野菜 (千トン)	穀類 (千トン)	豆類 (千トン)	嗜好香辛料・他 辛染食料料品 (千トン)	油肥料の他 飼雑料料品 (千トン)	木材 (m ³)	* 合計 (千トン)
令和7年	155,967	15,289	3.9	389,727	443	359	369	153	75	606	114	2,009
令和6年	2,121	20,870	3.7	381,813	414	278	318	179	69	611	210	1,873
令7/令6年比(%)	7353.5%	73.3%	105.4%	102.1%	107.0%	129.1%	116.0%	85.5%	108.7%	99.2%	54.3%	107.3%

* 合計は、重量単位の数量のみ集計した(小数点第一位は切り上げ)。

ベトナム産ティエウ種のれいしの生果実に関する
植物検疫実施細則の一部改正について
(査察性から立会制への変更)

主な改正内容は、相手国において消毒等の検疫措置が的確に行われていることの日本側確認方法が変更となった。

令和 6 年 11 月から定期的(年 1 回程度)に輸出国に向き書類等に基づいて確認を行う査察制へと移行していたところ、令和 7 年の輸出シーズン中に先方対応の不備事案があり、ベトナム側とも協議の結果、日本側防疫官がその全てに立ち会って確認を行う立会制での対応に戻すこととなった。輸入検疫時の検査現場への影響としては、立会制への変更とともに派遣植物防疫官による植物検疫証明書への付記が行われるため、輸入検査抽出量に変更が生じることとなった。

インド産マンゴウ生果実の日本向け輸出停止について

インド産マンゴウ生果実については、我が国へのミカンコミバエ種群及びウリミバエの侵入・まん延を防止するため、植物防疫法施行規則(以下「規則」という。)別表 2 の 2 及び 4 に基づき輸入禁止品とされているが、規則別表 2 の付表 48 に基づき、インドから発送され、他の地域を経由しないで輸入されるアルフォンソ種、ケサー種、チョウサ種、バンガンバリ種、マリカ種及びラングラ種のマンゴウの生果実であって農林水産大臣が定める基準に適合しているものは輸入を認めている。令和 8 年、日本の植物防疫官をインドに派遣し、消毒の実施等が適切に行われているかの確認を行ったところ、インド側が指定した施設において、二国間で合意した条件を満たしていないことが確認された。このため、インド側に原因究明及び改善措置の提出を要請するとともに、インド側の運用が改善されたことが日本側で確認できるまでの間、全ての施設から日本への輸出は行わないよう要請された。

○対象植物

インドから発送され、他の地域を経由しないで輸入さ

れるアルフォンソ種、ケサー種、チョウサ種、バンガンバリ種、マリカ種及びラングラ種のマンゴウの生果実(規則別表 2 の付表第 48 で規定されている植物)

○輸入時の対応

令和 8 年 3 月 25 日以降に発給された検査証明書が添付されたインド産マンゴウ生果実(対象植物)が輸入された場合、廃棄又は返送の措置を実施。

○輸出停止要請の解除

インド側の運用が改善されたことを日本側で確認次第、輸出停止要請の取り下げを実施。

第 7 次 NACCS 植物検疫関連業務の機能追加による電子植物検疫証明書(ePhyto)の導入に係る試行期間の延長について

輸出入・港湾関連情報処理システム(NACCS)については、令和 7 年 10 月 12 日に更改され、本システム更改に併せて、植物検疫業務に関する部分についても機能追加・変更が行われ、電子植物検疫証明書(ePhyto(イーファイト))を交換するための機能が追加された。

輸入・輸出について従来の植物検疫証明書と ePhyto の両方の受取・発給を行いつつ、物流に影響が生じないように、ePhyto の本格的な利用が可能であることの確認を行うため、令和 7 年 10 月 14 日から大韓民国及びアメリカ合衆国の輸出入貨物を対象として、令和 7 年 12 月 1 日からアルゼンチン及びチリの輸出入貨物を対象として、ePhyto の導入に係る試行を行ってきであるが、本格的な運用開始に向け進めているところ、物流に影響が生じないように確実に実施するため、試行期間を延長した。

(植物防疫所ホームページ参照)

東京植物検疫協会事務局人事

○3月31日付

退職(臨時雇用終了) 大関 好秋(業務グループ)

会 員 ・ 役 員 の 異 動 (令和 8 年 1 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

☆入会会員

2月1日 (株)BEACON LOGIS [運輸] 〒104-0032 中央区八丁堀3-26-9 ☎03(6380)7969
3月1日 興 和 (株) [商社] 〒460-8625 名古屋市中区錦3-6-29 ☎052(963)3138

☆社名変更

2月1日 ランゲン合同会社 ← ウィルバー・エリス合同会社
3月1日 Umios (株) ← マルハニチロ (株)
3月1日 Umios ロジ (株) ← (株) マルハニチロ 物流

☆退会会員

1月7日 コクサイエアロマリン (株)
1月8日 (有)ライズかわはら
2月27日 (株)ジェイエイ・トランスアグリビジネス
3月31日 (株)アイステーション、イオン商品調達(株)、(株)コンフィテラ
(株)シン・メソッド、(株)スマイル、全農グリーンリソース(株)
ニッカプランニング(株)、まるご(株)、三菱倉庫(株)

タイム eye

業務グループ 東京港における輸入米の増加について

東京港において 2025 年暦年での米（精米、玄米含む）の輸入量が大幅に増加した。植物防疫統計によると、東京港では 92.8 千ト（前年対比 213.8%）、全国では 898.3 千ト（同 120.6%）の輸入であった。

令和 6 年からの国産米の不足から集荷業者による競争が過熱し、市場価格が高騰、南海トラフ地震臨時情報発出による警戒感からの買い占めや、インバウンドによる外食産業の需要による増加も不足感に拍車をかけたと言われている。「令和の米騒動」とメディアに取り上げられ、備蓄米の放出にまで及んだことは記憶に新しい。価格高騰と米の不足感が続くなか、備蓄米放出と同じ時期に外国産米の輸入にも注目が集まることとなった。米の輸入に関しては高い関税がかけられており、政府による SBS/MA 制度による米の輸入を除き、民間輸入に対して 1 キロあたり 341 円（WTO 加盟国からの輸入の場合）の関税が上乘せされる。輸入量の増加は、関税や輸送費などを乗せたうえでも国産米の平均小売価格より 1 割程度安くなる結果から急激に増えたものと言われている。実際、民間輸入米を大手流通企業が大規模に小売販売を開始したり、外食チェーンでは外国産米や国産米と外国産米のブレンド米の導入を進めたりして、以前に比べ外国産米を見かけることが多くなった。

東京輸入量		2023 年	2024 年	2025 年
米	国	3,162 t	27,932 t	75,248 t
タ	イ	5,274 t	11,800 t	8,751 t
ベ	ト	0	1,541 t	2,766 t
ナ	ム			
中	国	17 t	1,317 t	1,203 t
イ	ン	1,416 t	1,317 t	6,218 t
ド				
ス	ペ	9 t	10 t	10 t
ペ	イ			
ン				

令和 8 年になった現在も、米の市場価格の高騰は続いている。3 月 15 日時点での平均小売価格は 4,135 円となっている。緩やかに価格の下降傾向が伺えるようになってきたとはいえ、まだ高値をキープした状態である。令和 7 年産の国産米の生産量は約 718 万トンと発表され、令和 6 年産に比べて約 66 万トン増となった。これは平成 29 年産以来の収穫量となっており、需要分は十分と発表されている。これによって、今後の小売価格がどうなるかが注目されており、さらに価格下落に向かっていくことになれば、輸入米にも影響が出ることになる。あくまで国産米の価格高騰が故の輸入急増であり、国内の作柄が輸入数量に顕著に影響したケースとして紹介させていただいた。

（業務グループ西村 洋一）

業務グループ セイヨウハシバミ苗木初輸入

2 月 18 日東京港入港“MSC FLORIANA”号でイタリア産セイヨウハシバミ苗木が同港初輸入され、検査は無事合格となった。枝部は芽の保護と乾燥防止の保湿を目的に緑色の蠟が塗られている。（写真）

苗木類等の栽培用植物の輸入検疫については、直接圃場に植えるため、病害虫の侵入リスクが高く、茎葉への病害虫の付着に加え、地下部（根部）への線虫寄生や土壌付着がないか等、綿密な検査が実施されている。

また、同国産の当該植物は、植物防疫法施行規則別表二の二の規定により、万一日本に侵入した場合、農作物等に大きな被害を及ぼす危険性が高く、輸入時の検査では発見が困難な病害虫の寄主植物であるため、本来輸入禁止措置をとるべき植物について、輸出国政府機関により適切な検疫措置が講じられ、その旨を記載した植物検疫証明書が添付してあるものでなければ輸入してはならないとされている。

【植物防疫法施行規則別表二の二】以下の対象病害虫

五項 イチゴクチブトゾウムシ

十四項 *Eutypa lata*（病菌）

十七項 *Phytophthora ramorum*（病菌）



セイヨウハシバミの原産地は欧州大陸部から地中海域でヨーロッパや北アフリカ、西アジア等広く分布し、日本では九州北部から北海道にかけて広い範囲で近縁種のハシバミとツノハシバミが自生している。ハシバミは病気にも強く、日本の気候でも育てやすく、植えてから実を本格的に収穫するのにおおよそ 5~7 年以降とされ、難しい管理も少なく気長に栽培できるとされる。

果実はヘーゼルナッツとして食され、アーモンドやカシューナッツとならび「世界三大ナッツ」と称される。日本で食べているもののほとんどが輸入品でトルコ産が約 9 割を占めている。他のナッツと比べクセが少なく、ローストすると香ばしさとコクのある味わいが楽しめ、チョコレートやクッキー等、製菓の材料としても相性が良く、脂質やオレイン酸等を含み美容や健康を意識した食材としても注目されている。

（業務グループ青島 英夫）

東京港輸入植物品目別統計表

(令和7年度累計)

品目	単位	コンテナ詰			在来船積		合計	
		本数	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量	検査数量	不合格数量
栽植用植物	個	75	156,133,887	12,373	0	0	156,133,887	12,373
栽植用球根類	個	71	15,239,172	64,480	0	0	15,239,172	64,480
アマリリス	"	0	0	0	0	0	0	0
チューリップ	"	0	0	0	0	0	0	0
ユリ	"	65	13,718,095	0	0	0	13,718,095	0
栽植用種子	kg	342	3,929,340	680	0	0	3,929,340	680
草花・樹木	"	1	10,483	0	0	0	10,483	0
野菜	"	150	705,275	0	0	0	705,275	0
普通・特用作物	"	60	915,661	0	0	0	915,661	0
牧草・芝草	"	112	2,131,861	680	0	0	2,131,861	680
切花、切葉、切枝	個	2,699	381,474,541	3,453,345	0	0	381,474,541	3,453,345
アンズリューム	"	0	0	0	0	0	0	0
オンシジューム	"	97	4,551,805	101,130	0	0	4,551,805	101,130
キク	"	1,678	176,817,652	95,160	0	0	176,817,652	95,160
シダ(レザーフアン)	"	117	20,542,400	0	0	0	20,542,400	0
果実	kg	8,213	141,660,561	5,613,923	292,494,562	206,472,910	434,155,123	212,086,833
オレンジ	"	535	10,384,864	0	0	0	10,384,864	0
グレープフルーツ	"	163	3,321,520	19,152	289,744	0	3,611,264	19,152
タンジェロ(ミネオラ)	"	83	1,256,741	0	0	0	1,256,741	0
レモン	"	338	5,361,466	0	145,224	0	5,506,690	0
パイナップル	"	871	13,856,669	2,332,135	25,355,316	20,110,578	39,211,985	22,442,713
バナナ	"	2,962	51,656,775	3,029,590	229,660,740	185,972,676	281,317,515	189,002,266
マンゴウ	"	56	214,336	0	0	0	214,336	0
キーウイフルーツ	"	536	9,417,479	0	35,284,085	389,656	44,701,564	389,656
ブドウ	"	184	2,721,912	28,416	0	0	2,721,912	28,416
野菜	kg	16,470	339,700,999	909,857	13,572	0	339,714,571	909,857
カボチャ	"	616	14,492,054	705,600	0	0	14,492,054	705,600
サヤエンドウ(キヌサヤ)	"	7	90,035	0	0	0	90,035	0
パプリカ	"	47	371,582	0	0	0	371,582	0
メロン(ハミウリ含む)	"	51	950,832	18,289	0	0	950,832	18,289
キャベツ	"	445	9,955,663	0	0	0	9,955,663	0
セロリ	"	22	353,190	14,515	0	0	353,190	14,515
ナガネギ	"	2,177	32,669,905	14,000	0	0	32,669,905	14,000
ニンニクの芽	"	38	1,452,249	0	0	0	1,452,249	0
ハクサイ	"	147	2,750,570	18,480	0	0	2,750,570	18,480
ブロッコリー	"	97	1,142,700	0	0	0	1,142,700	0
レタス	"	235	2,722,671	11,200	0	0	2,722,671	11,200
タマネギ	"	6,564	159,429,613	100,000	0	0	159,429,613	100,000
ニンニク	"	721	13,149,850	0	0	0	13,149,850	0
アスパラガス	"	0	0	0	0	0	0	0
ゴボウ	"	315	8,642,130	0	0	0	8,642,130	0
サトイモ	"	36	655,070	0	0	0	655,070	0
ショウガ	"	499	10,948,916	0	0	0	10,948,916	0
ニンジン	"	1,609	41,479,010	0	0	0	41,479,010	0
こく類	kg	11,174	235,646,556	2,522	101,043,779	0	336,690,335	2,522
オオムギ	"	38	753,686	0	0	0	753,686	0
エンバク	"	427	9,770,864	0	0	0	9,770,864	0
コムギ	"	207	3,881,334	0	101,043,779	0	104,925,113	0
コメ	"	4,549	91,814,199	2,522	0	0	91,814,199	2,522
ソバ	"	140	2,839,169	0	0	0	2,839,169	0
トウモロコシ	"	309	5,650,441	0	0	0	5,650,441	0
モルト	"	5,403	119,071,066	0	0	0	119,071,066	0
まめ類	kg	7,266	145,094,164	575,410	0	0	145,094,164	575,410
エンドウ	"	39	816,144	480	0	0	816,144	480
ダイズ	"	6,726	134,294,737	572,000	0	0	134,294,737	572,000
ラッカセイ	"	278	5,968,334	0	0	0	5,968,334	0
嗜好香辛、薬染料、その他食品	kg	4,470	71,615,992	33,184	1,000	1,000	71,616,992	34,184
カカオ	"	19	54,597	4,859	1,000	1,000	55,597	5,859
コーヒー	"	101	1,089,557	0	0	0	1,089,557	0
タバコ	"	850	15,584,870	0	0	0	15,584,870	0
アーモンド	"	1,214	21,858,586	0	0	0	21,858,586	0
クリ	"	23	334,876	25,000	0	0	334,876	25,000
クルミ	"	561	9,610,367	3,200	0	0	9,610,367	3,200
ポップコーン	"	405	8,395,423	0	0	0	8,395,423	0
油料、肥飼料、その他雑品	kg	26,378	605,232,912	637,963	0	0	605,232,912	637,963
乾燥牧草(ヘイ)	"	19,377	456,819,098	0	0	0	456,819,098	0
アニマルフィード	"	23	265,946	0	0	0	265,946	0
アルファルファヘイキューブ・ペレット	"	1,121	28,178,024	0	0	0	28,178,024	0
コーンコブミール	"	21	478,135	0	0	0	478,135	0
飼料用大豆カス、ペレット	"	531	12,738,727	0	0	0	12,738,727	0
ビートパルプペレット	"	260	6,172,842	619,560	0	0	6,172,842	619,560
イネワラ	"	290	4,812,288	0	0	0	4,812,288	0
ココピート	"	644	12,296,132	0	0	0	12,296,132	0
ココヤシ園芸資材	"	23	429,527	0	0	0	429,527	0
ビートモス	"	1,594	36,074,862	0	0	0	36,074,862	0
ミズゴケ	"	43	99,439	0	0	0	99,439	0
タケ	"	60	862,938	0	0	0	862,938	0
木材	m³	5	123	3	0	0	123	3
** 総合計 **	kg	74,313	1,542,880,524	7,773,539	393,552,913	206,473,910	1,936,433,437	214,247,449
	個	2,845	552,847,600	3,530,198	0	0	552,847,600	3,530,198
	m³	5	123	3	0	0	123	3

注1) コンテナ本数の総合計は、kg、個、mの合計(77,163本)。

注2) 主要品目のみ掲載。携帯品、郵便物及び他港からの荷受分は含まない。